

県内各地で景観学習の取組みが拡大中！

都市計画課支会

都市計画課では、子どもたちが身近な景観を通じて地域の魅力や課題を発見する体験型学習「景観学習」を、各市町村と連携しながら実施しています。

令和3年度は8月までに岩手県主催の景観学習を5市町5校で実施。また、9～11月には一関市、奥州市主催の景観学習も開催されており、県内における景観学習の取組が広がっています！

景観学習とは？

景観学習は、県内の小・中学生を対象に、身近な景観から地域の歴史や文化を理解し地域の魅力を感じ取る機会を提供することにより、『①景観とは何かということについて理解を促し、②地域の景観をみんなの共有財産として大切にする意識を高め、③地域に対する誇りや愛着心を育み、景観づくりの担い手として自ら考え行動できる人材を育成する』ことを目的とした取組です。

景観学習の流れ(例)



1日目<ガイドンス・まち歩き>

- ・「景観」「まち歩き」について授業を実施。
- ・学校の外に出て、「好き」「嫌い」「気になる」などたくさんの景観を自由に撮影。
(デジタルカメラの貸与はひとり1台！)

2日目<景観シート・マップ作成>

- ・撮影した写真を印刷し、①テーマ、②どう思ったか、③タイトルをまとめる。
- ・選んだ景観の撮影位置を地図にプロットして、マップを完成させる。

【講師】岩手大学農学部 三宅 諭 准教授

【講師】いわて NPO-NET サポート 菊池 広人 事務局長

学校からの感想等

○先生方から

- ・「総合的な学習に適していてとてもいい取組みです。」
- ・「普段の授業では地域を歩いて回る機会がないので、新たな発見をする事ができました。」
- ・「地域の魅力や素晴らしさに気づき、興味や関心を持たせることができました。」

○子どもたちから

- ・「自分の住んでいる地域には、素敵な場所がたくさんあることが分かった！」
- ・「カメラで写真を撮るのが楽しかった！」
- ・「景観シートや景観マップをつくり、色んな景観を知ることができた！」

等

県内の実施状況

平成22年度の実施開始から、令和3年度までに15市町村32校（累計66校）で実施。

年度（近年）	H29	H30	R1	R2	R3
実施学校数	5	8	6	8	5※
累計実施学校数	39	47	53	61	66

※新型コロナウイルス感染症の影響により、7校予定のうち2校中止あり

■ R3 県主催景観学習実施市町村位置図

■ : R3 実施

○御所小学校
神社周辺の景観を探索
(R3.7.14 実施時)



○日詰小学校
まちなかの景観を撮影
(R3.6.17 実施時)



R3年度は県主催景観学習を
5市町5校で実施
うち4校が新規学校



○重茂小学校
景観マップ作成の様子
(R3.7.2 実施時)



○船越小学校
屋上からの景観を撮影
(R3.6.23 実施時)



○室根東小学校
学校周辺の景観を探索
(R3.6.10 実施時)



景観学習の実施内容については、『景観学習のススメ』を参考にしてください！（[岩手県 景観学習](#) で検索！）
<https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/toshigesui/machizukuri/1010110/1010114.html>